

世界で輝ける山陰海岸ジオパークへ ～世界は豊岡にある～



山陰海岸ジオパークが世界ジオパークネットワークに再認定されました。今後は、ジオパークを通じて「地域の宝」をさらに磨き、地域の活性化を図ります。《問合せ》大交流課 ☎21-9016



9月23日(現地時間9月22日)、第6回世界ジオパーク国際ユネスコ会議(カナダ・ストーンハンマージオパーク)で、山陰海岸ジオパークが世界ジオパークネットワーク(GGN)に再認定されました。今回の認定期間は平成30年までの4年間です。

適性の審査

ジオパークの認定には、玄武洞などの価値ある地域資源を保全しながら、教育や観光などに「活用」している「人々の活動」が重要です。GNの審査員が現地を訪れ、4年ごとに審査します。今回の再認定で、鳥取市青谷町まで認定エリアが拡大し、東西120km、南北30kmになりました。

山陰海岸ジオパークは、地域の連携や地域の人々・ガイドの普及活動などが高く評価されました。

シンポジウムの開催

平成27年9月、豊岡市や鳥取市をメイン会場に「第4回アジア太平洋ジオパークネットワーク(APGN)シンポジウム」が開催されます。地域資源や活動を世界に発信できる絶好の機会です。



NPO法人
かなべ自然学校
前田敦司さん

自然に代わってガイドを

山陰海岸ジオパークの認知度が上がっています。ジオパーク先進地として見られることもあり、今まで活動してきたガイド業をより一層良いものにしたいと思っています。

私が活動している神鍋高原には、近畿で唯一の「噴火口」や自然の冷蔵庫「風穴」、溶岩が作り出した独特な景観「神鍋溶岩流」があります。この地で過去にどのような活動があり、今の地形や石があるのかななどをガイドしたいです。

真価が問われる

山陰海岸ジオパークが発足して6年。「多くの人々にジオパークを知ってもらおう」と官民が連携して啓発活動を進めてきた結果であり、関係者に敬意を表します。

これからは、より一層、地域の住民と連携・協働して活動を進めることが大切であり、地域の活性化とジオパーク活動がどのように発展していくのか、真価が問われることになると思われます。一緒に頑張りましょう。



NPO法人
玄武洞ガイドクラブ
木下道則さん

喜びの声

感動の共有で地域の活性化を

この素晴らしい結果は、地質、地形はもちろん、豊かな自然、人々の取り組みがあってこそものだと思います。これを機に、点在する多くの名所を山陰海岸一体となって線で結び、力を合わせて一層PR・普及に努めたいです。

私がガイドをしている日和山海岸も四季折々、日々さまざまな表情で魅せてくれます。この壮大な美しさを歴史と共に多くの人へ語り、感動を共有することで活性化へつながればと願います。さらなる4年後を目指して…。



RK
日和山海岸ガイドセンター
澤本圭子さん



④

玄武洞公園



玄武洞



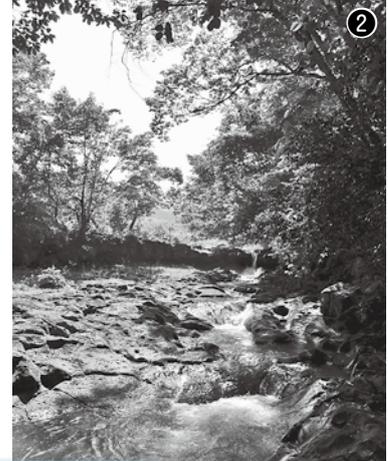
③

城崎温泉街



①

竹野海岸-はさかり岩



②

神鍋溶岩流

ジオパークってどんな「公園」？

「ジオ(geo)」は、地球や大地という意味です。「ジオパーク」は、科学的に見て特別に重要で貴重な、あるいは美しい地質遺産を含む一種の自然公園です。

地質や地形は、地球の歴史を物語っているだけでなく、人の暮らしや文化に直接結びついています。この大地の営みを一つの遺産として学び、楽しむのがジオパークです。

思い出の舞台は山陰海岸 地球活動遺産を学び、楽しもう♪



⑨

浦富海岸(岩美町)



⑦

余部橋梁(香美町)



⑤

立岩(京丹後市)



⑩

鳥取砂丘(鳥取市)



⑧

猿壺の滝(新温泉町)



⑥

西ヶ岡棚田(香美町)